

周南市立 新南陽市民病院だより

電話：0834-61-2500

FAX：0834-61-2501

メールアドレス：renkei@city-hp.or.jp

ホームページ：http://www.city-hp.or.jp



病院の基本理念と基本方針

市民に奉仕する医療

1. 市民のための「地域病院」であること
2. 医療及び健康を求める全ての人々に、親しまれる「開かれた病院」であること
3. 健康・福祉との連携にも積極的に寄与し、「市民コミュニティー」を形成すること
4. 病院も進歩と変化に対して、発展し、成長し続ける「伸びゆく病院」であること

新南陽市民病院の特徴

当院の管理運営は「公設民営方式」で指定管理者制度に基づき財団法人医療公社に委託され、自治体の「信用力」と民間の「柔軟性・機動性・経済性」を活かしながら、管理運営を行っています。

また、施設医療環境面においては、外来診療機能部門の集中、病室の快適な居住性や診断精度の高いMRI、マルチスライスCT、血管造影装置など最新の機種を備えています。

目次

CONTENTS

ごあいさつ	2
行事報告	3
特集	4
みなさまの声	5
地域連携室だより	6
医事統計	7
外来診察一覧表	8





新南陽市民病院 名誉院長 小田 裕胤

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

公設民営の新南陽市民病院および訪問看護ステーション“ゆめ風車”が開設して、今年で12年となりました。2度目の“辰年”を迎えたこととなります。介護老人保健施設“ゆめ風車”、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所などの施設を拡大して本日がありますことに、これまで賜りました市民の皆様のご支援、ご厚情に深く御礼を申し上げます。また、職員の皆様のご尽力に深く感謝申し上げます。さて、昨年は東北大震災、原子力発電所の事故など未曾有の大災害が発生しました。その復興が我が国の最優先課題となっておりますが、被害が広域で、かつ甚大であることから復興事業の長期化は避けられません。経済的にも被災地域の人々とともに耐え抜かねばならないと考えます。殊に、本年は医療保険と介護保険の同時改定の年ですが、診療報酬の引き上げは極めて厳しい現況にあります。加えて山口県内の医師不足は一層その深刻度を増してきています。そうした中でも私たちは周南市民の皆様に対して、提供させていただく医療の質をより向上させて行かねばなりません。

さらに、国の政策として平成25年度より実施されます公益法人制度改革に、医療公社は公益財団法人として申請いたしますこととなりました。

現在“市民に奉仕する医療”の基本理念のもとに周南市における保健・医療・福祉の中核としての役割を担っていただいておりますが、より一層の公益性を追求してまいりたいと存じます。本年が医療公社の大いなる飛躍の年となりますよう願って新年のご挨拶とさせていただきます。

新南陽市民病院 院長 松谷 朗

明けましておめでとうございます。就任後今年で4年目を迎える院長として新年のご挨拶と抱負を述べさせていただきます。就任後しばらくの間は新米院長なので何かと大目に見ていただいていたようですが、最近は厳しい視線がいろいろな角度から全身に突き刺さってくるように感じております。今年は当院および周南市医療公社にとって大変重要な年になると思います。病院改革プランの集大成の年であり、DPC導入、機能評価の準備といろいろな課題が横たわっている時期に複数の重要職員の異動、定年などが重なっているからです。こういう時こそ財界の大物、中山素平の“問題は解決されるためにある”という言葉の思いだし、職員一丸となり、ひとつひとつ片付けていくしかありません。この言葉は難問を前に、開き直る心構えを表す大変よい言葉ですね。幸い、辰年というのは何故か景気が回復することが多いとのジンクスもあるので何とか光明を見いだそうと思っております。また長年にわたり医療公社に多大な貢献をされ、退職される皆様には心よりお礼を申し上げますとともに、それぞれのネクストステージに向けてのエールを送ります。

次々と交代する首相で象徴される政治の空白化、多数の閣僚の問題発言や問題行動による辞任劇。政治家のレベルが低下したのか、揚げ足取りのマスコミに問題があるのか。連日繰り広げられる茶番劇は結局国民レベルのミラーイメージだろうと考えています。医療問題もしかりであり、新研修医制度に一因があるだろうと想定される、医師不足と地域医療の崩壊、これについても国の方針が全面的に誤りかという必ずしもそうではない。問題有りと思われる制度が導入されたとき、徹底的に反対するよりも、迎合して、適応して生き残っていくとする体質がわれわれ日本人にはあるように思えてならない（器用、勤勉で、適応力があり、波風を立てるよりは我慢する）。今のままでは地方大学には研究を目指す医師は確実に減っていくだろうし、本当にたくましい医師が育たないのではないかと危惧しています。現行の医療制度や教育制度、あるいは研修制度に問題がありと考えたら、そのような考えは持続できないといけないし、機会があれば発信する必要があります。反戦運動も同じことで、国民の大多数の声として戦争は反対だとしても、実際敵対国と戦争しているときは国民の1人として戦地に向かわなくてはならないこともあります。戦争には反対であるという姿勢を持続できないと、いつまでたっても同じことの繰り返しになるわけです。今後当院が生き残っていくうえでの最低限時流に沿った病院制度の改革はやっていくにしても、当院ならではの存在意義や、当院で働く医師や職員の特色を真剣に考えていきたいと思っております。

病院の使命として患者さんの満足度を上げることが大前提ですが、医師をはじめとして職員の皆さんが働きがいのある、また働きたくなるような病院を、全力を挙げて目指そうと考えていますので、関係各位のご協力をお願いいたします。

行事報告

【ブルーサークルイベント】 記 看護部長 松浦清子

毎年11月14日には、東京タワーが青くライトアップされている姿が報道されています。この日は国際連合が糖尿病撲滅を世界に提唱した「世界糖尿病デー」です。

当院では、世界糖尿病デーを記念して、糖尿病予防を呼びかけるための行事として、平成17年から「糖尿病週間行事」を開催しています。11月6日（日）に第7回を開催いたしました。平成19年から、永源山公園のゆめ風車をブルーにライトアップ、また、平成21年から、行事を「ブルーサークルイベント」と名付け、糖尿病予防を呼びかけています。

10月31日（月）から徳山駅、病院に懸垂幕を張り、市民のみなさまに行事についてお知らせしました。病院では、「1600Kcal 糖尿病食」の展示、糖尿病について、糖尿病の治療について、運動療法について、ストレスへの対処、訪問看護について等、みなさまに伝えたい情報を載せたパネルを掲示しました。

11月6日（日）は病院でブルーサークルイベントを開催しました。

糖尿病検査コーナー、相談コーナー（内科・お薬・食事・運動・ストレス・日常生活・訪問看護）をエントランスホールに設置しました。

11時30分から講演会を開催しました。今回は山口県立総合医療センター 内科主任部長 井上 康先生に「“糖尿病” 万病のもとを一病息災に」というテーマでご講義していただきました。人はなぜ糖尿病という病気になるのか、糖尿病の治療について症例を紹介されながら、わかりやすく講義していただきました。参加された50人の市民の方も先生の言葉に頷かれながら楽しそうに聴いていらっしゃいました。「食事のときはまず野菜から。よく

噛んでですね。」と、講義の中のことばをお互いに確認されていました。

その後500Kcal糖尿病食の試食会を開催しました。はがきで申し込まれた25人の市民の方々が試食されました。今回は試食の希望をされた方が38人と多く抽選で25人の方が選出されました。

参加された市民のみなさまからアンケートによりいただいたご意見の多くは、計画した行事について「参加してよかった」「わかりやすかった」等よい評価をいただきました。

来年度もブルーサークルイベントは開催予定です。みなさまのご参加をお待ちいたします。



【クリスマスコンサート】 記 総務課 多田大貴



12月16日、今年も『野ばらの会』の岡田靖子さん・石田知子さんによるクリスマスコンサートが開かれ、新南陽市民病院に素敵な歌声のプレゼントが届けられました。年々観覧者も増え、3回目となる今年は立ち見も含め、80名近くの方の観覧がありました。

“讃美歌”や中島みゆきの“時代”などしっかりと心に染みわたる曲から、“赤鼻のトナカイ”や“あわてんぼうのサンタクロース”など体が自然に動き出してしまうような明るく楽しい曲などバリエーション豊かなコンサートとなり、観覧に訪れた患者さんにも、「季節感を味わう事が出来た」と大変好評でした。

特集 【スポーツの冬】

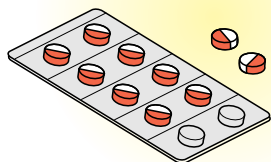
記 内科医長 野瀬善夫

皆様こんにちは。新南陽市民病院循環器内科の野瀬です。スポーツの秋という言葉はよく耳にしますが、スポーツの冬とは聞き慣れませんが、私が勝手に言っております。秋に始めた運動も寒さ厳しくなる11月から億劫となり、ついつい怠けて12月には中断となっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか？確かに寒冷刺激は身体的ストレスにつながりますし、寒冷暴露により血圧が上昇する可能性は十分にあります。だから決して厳寒の中に身をさらすことはおすすめしませんが、せっかく始めた運動が2~3ヶ月で終わってしまうのはもったいないことです。暖かい日差しが射す中で防寒対策をしっかりとて体を動かすことも大切と考えます。屋外にて暑く感じて上着を脱ごうと思えばもう目的の半ば以上は達したも同然です。ウォーキングであれ、ゴルフであれ、何でも良いと思いますが、家に引きこもり高塩分食、高脂肪食、糖分過多の食事や飲酒を行うことを考えれば寒冷刺激の方が幾分に勝る健康法と考えます。



最近、外来にて多くの患者様から健康食品についての質問を受けております。「○○○食品の△△△を取ることは健康によいのでしょうか？これを飲めば病気が治り、内服はしなくて良いのでしょうか？」今まで外来での答えは決まってNoと答えております。健康食品と疾患の組み合わせ全てのケースに当てはまるものではないですが、多くの症例の場合、特に生活習慣病と言われる高血圧症、脂質代謝異常症（高脂血症）、糖尿病（耐糖能障害）、高尿酸血症、アルコール性肝障害、脂肪肝、メタボリック症候群いずれを取っていても健康食品によって病態が改善して治療を有しなくなったケースは少なくとも私は経験したことはありませんし、多くのドクターの経験からも同じ答えが返ってくるのではないのでしょうか？その理由を私は単純に足し算引き算に置き換えて考えております。1940年代の物不足に困窮した日本社会、現在でも飢餓にあえぐ国々には栄養不足による疾病が沢山発症し、その為に尊い命が失われています。その中には幼い命が多く含まれていることを皆さんもご存じの通りだと思います。これらの人々にこそ足し算の治療、健康食品に含まれるふんだんな栄養素が必要と考えられます。現在の日本社会で栄養失調に伴う疾病は非常にまれなケースだと考えられます。特に外来通院をして頂いている患者様の内、列記させて頂いた生活習慣病とその類似疾患については栄養が有り余っている、余分なものを体に取り込んだ結果から起きている疾患と考えられます。その時には引き算の治療が最大にして最良の治療法と考えております。食事内容、食事量を見直し、運動をすることで消費を促すことが最大の治療法と考えています。体内に有り余る栄養素にさらに何かを加えるような足し算の治療は必要がないのではないのでしょうか？決して全ての健康食品の効能を否定

するものではありませんが、自分の疾患や問題点をよく把握した上で足し算がよいのか引き算がよいのかを考えて頂ければ自ずと答えが導き出されていくことと考えます。私の外来の中には、これほどまで人間は強くなれるのかと感心させられ、尊敬すべき患者様が多数いらっしゃいます。私の内科第4診察室には名医はおりませんが、名患者が多数来院して頂けることが私の自慢です。寒さ厳しき中、ご自愛ください。



みなさまの 声

市民病院では、外来・入院患者様、お見舞い等の皆様から様々なご意見ご要望をいただいております。いただいたご意見等につきましては、できることから改善、検討を加えております。お寄せいただいたご意見等につきましては一階の掲示板に掲載しております。今回は、今までいただいたご意見等の中から選んでご紹介いたします。今後とも叱咤激励をお願いいたします。

Q

4階介護に入っていますが看護師さんスタッフの皆様大変親切なのでビックリしました。これが本当の医療だと思います。先生だけがよいのもダメです。大変なお仕事と思いますが頑張ってください。

A

感謝のお言葉をいただき、誠にありがとうございます。
今後も患者さんやご家族の皆さんに快適な入院生活を感じていただけますよう「市民に奉仕する医療」という基本理念に沿って、看護師はじめスタッフ一同努めて参ります。

Q

入院の際には大変お世話様になりました。入院証明書が必要ですので書類の提出をしましたが、2週間かかるとの説明、又、入院のしおりにて伺いましたが何故でしょうか。他の病院では退院の際に必要な人は申出て下さいとの取扱いをしています。事務手続きを迅速に行い、市民病院の名前に恥じない処理を行い市民の要望に答えて下さい。

A

貴重なご意見をありがとうございます。
証明書等の書類に関しましては、当院では診療等の関係により時間がかかる場合がありますので、お渡するまでに2週間いただくようお願いしておりますが、なるべくご要望に沿えるような事務処理を心がけてまいりますので、ご理解の程、よろしくをお願いいたします。

Q

電子レンジを置いてください。付き添いの人の弁当が冷たいです。

A

貴重なご意見をありがとうございます。
電子レンジの設置につきましては、衛生面や安全面を考慮し、現在は設置しておりませんが、今後、設置に向けて検討してまいります。

冬のレシピ

《こんにゃく麻婆豆腐》

- ①豆腐は厚手のペーパータオルに包んで電子レンジで約3分加熱して水をきる。合わせ調味料の材料を混ぜ合わせる。
- ②フライパンにごま油大さじ1を熱し、挽肉を入れて炒め、白っぽくなったら、豆板醤、ニンニク、ショウガを加えて炒める。香りが立ったら、こんにゃくを大きめにちぎって炒め、油がまわったら水1カップ加える。
- ③2が煮立ったら、合わせ調味料を加えて混ぜ、豆腐を大きくちぎって加える。フライパンを揺すって混ぜながら、2～3分煮て、とろみがついたら皿に盛り、万能ねぎを散らす。

【材料(2人分)】

豚挽肉……………100g
木綿豆腐……………1丁
おろしニンニク…1片分



おろしショウガ……………1かけ分
こんにゃく(アク抜き済み)……………1/2枚
万能ねぎの小口切り……………2～3本
合わせ調味料(酒大さじ2 砂糖大さじ1/2
味噌、醤油各大さじ1 片栗粉小さじ1)
豆板醤……………小さじ1
ごま油……………大さじ1

※電子レンジの加熱時間は500Wの場合の目安
600Wなら0.8倍、700Wなら0.7倍で加熱してください。

一人分:塩分3.1g
エネルギー:327kcal

地域連携室だより

地域連携室(直通)
TEL 0834-61-3250 / FAX 0834-61-3211

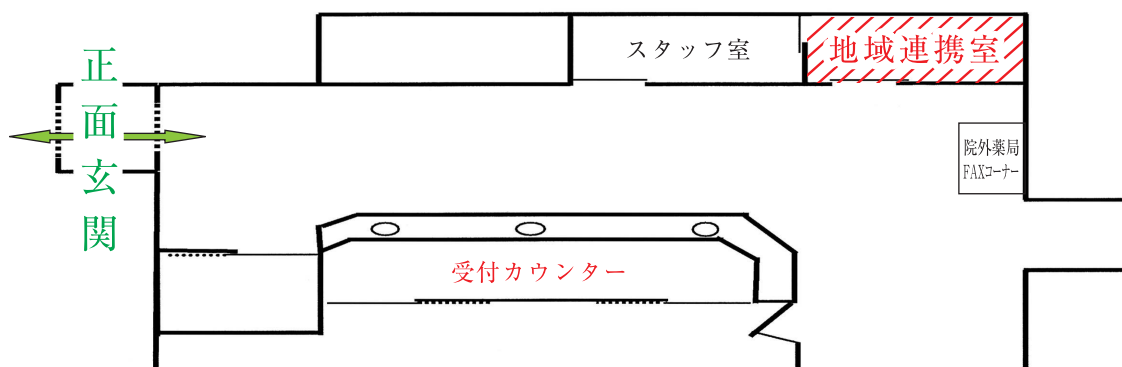
地域連携室って何？

地域連携室では、入院や通院にともなって起こる様々な問題に対して看護師や医療ソーシャルワーカーがご相談に応じています。患者さん、ご家族のお話を伺い一緒に考え解決のお手伝いをさせていただきます。

- * 治療費について
- * そろそろ退院といわれたが・・・すぐに家に戻れないとき
- * 近隣の病院や施設の紹介について
- * 介護保険の利用方法について
- * 身体障害者手帳などの制度に関することや申請方法について
- * 年金や労災、傷病手当金などについて
- * 身体に障害があるがサービスを利用しながら自宅での生活について
- * 住宅改修やベッド・車椅子など福祉用具の購入及びレンタルについて

【相談方法】

相談をご希望の方は、直接来室していただくか、医師や看護師またはその他のスタッフへお申し出ください。



入院(予定)患者さんへお願い

入院中に、当院に専門の診療科がないために他の医療機関を受診される場合は、紹介状が必要となりますので、必ず事前にナースステーションへ申し出て下さい。

また、予約入院をされる患者さんで、当院以外の医療機関でお薬等を貰われている場合は、入院中にそのお薬が切れることのないよう、事前に受診をされ、お薬を準備していただきますよう、ご協力をお願いいたします。



院内の絵画展覧

当院では、市内「古市サロン」の方々のご厚意を得て平成24年1月15日まで皆様の作品を展覧させていただきました。様々な作品に廊下が彩られ、病院が華やかになりました。

外来にいられた患者さんや、入院中の患者さんも食い入るように作品を見つめておられました。



医事統計

◆月別平均在院日数

(単位：日)

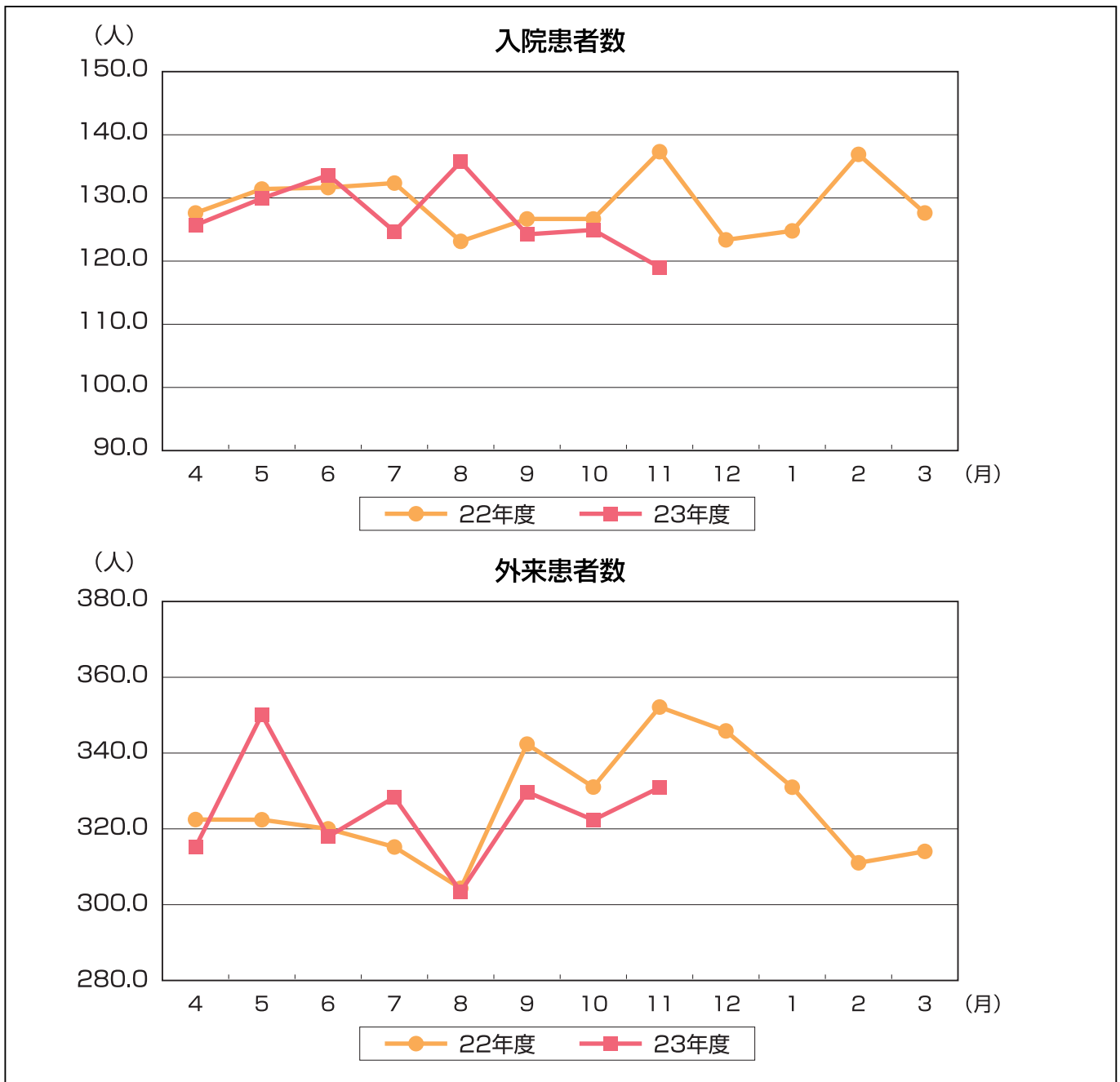
	22年度	23年度	対前年度
4月	17.84	17.29	▲0.55
5月	20.48	18.08	▲1.92
6月	16.43	15.92	▲0.51
7月	17.23	17.68	0.45
8月	16.82	16.32	▲0.50
9月	17.37	16.63	▲0.74
10月	16.85	17.32	0.47
11月	17.35	16.26	▲1.09
平均	17.54	16.93	▲0.61

◆月別病床利用率

(単位：%)

	22年度	23年度	対前年度
4月	85.2	83.8	▲1.4
5月	87.4	86.5	▲0.9
6月	87.6	88.8	1.2
7月	88.4	83.1	▲5.3
8月	82.1	90.0	7.9
9月	84.6	82.4	▲2.2
10月	84.5	82.7	▲1.83
11月	91.8	79.0	▲12.85
平均	86.4	84.5	▲1.9

◆平均患者数推移グラフ



外来診察一覧表

全科受付 8:30~11:30 診察 9:00~

平成24年1月4日現在

科別			月	火	水	木	金
内科	午前	1診	松谷 朗	中森 芳宜	松谷 朗	松谷 朗	中森 芳宜
		2診	河野 正輝	田上 耕蔵	河野 正輝	赤澤 哲子	河野 正輝
		3診	赤澤 哲子	桑代 紳哉	赤澤 哲子	桑代 紳哉	桑代 紳哉
		4診	田上 耕蔵	野瀬 善夫	中森 芳宜	野瀬 善夫	野瀬 善夫
	検査	消化器	桑代 紳哉	赤澤 哲子	桑代 紳哉	田邊 亮	赤澤 哲子
		循環器	野瀬 善夫	河野 正輝		河野 正輝	
	午後			頸動脈・ 甲状腺工コ一			頸動脈・ 甲状腺工コ一

			月	火	水	木	金
整形外科	午前	新患	花岡 篤哉	木村 光浩	木村 光浩 黒川 陽子	花岡 篤哉	黒川 陽子
		予約	小田 裕胤	花岡 篤哉	小田 裕胤	黒川 陽子	木村 光浩

外科	午前	月	火	水	木	金
		鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成	橋本毅一郎	鈴木 道成

泌尿器科	午前	月	火	水	木	金
		小西 基彦	小西 基彦	小西 基彦	(休止)	小西 基彦

脳外科	午前	月	火	水	木	金
		藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 康弘	藤井 正美	藤井 康弘

眼科受付 (火・水) 8:30~11:30
(木) 13:30~15:00
(月・金) 13:30~16:00

眼科診察 (火・水) 9:00~12:30
(月・木・金) 14:00~17:15

眼科		月	火	水	木	金
	午前	—	新川 邦圭	櫻田 規全	—	—
	午後	田中 敦子	—	—	石田 康仁	田中 敦子



お問合せ _____

周南市立新南陽市民病院

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-3-15

TEL 0834-61-2500 / FAX 0834-61-2501